

 あとがき 

本号では、かつての岡本氏の同僚で、また私の前任者でもある **Schwerer** 氏に追悼記の執筆をお願いしました。**Schwerer** さんが 2000 年に北大で講演をされた際、その冒頭で彼を出席者に紹介されたのが岡本さんでした。当時まだ核データに関わっていなかった私はその場におらず、IAEA 赴任のご挨拶、という形で岡本さんとの初対面を果たしたのはこのおよそ 7 年後のことでした。そこでは岡本さんが IAEA や核データよりも神秘主義などのお話を好まれたのが印象的でした。モーツァルトの「魔笛」が好きな私にとって彼のフリーメーソンの話は気になるところで、彼から勧められた「石の扉」という本をさっそく読みました。そういえば、原研在職時に同室だった中川庸雄氏から私はダン・ブラウンの「ダヴィンチコード」や「天使と悪魔」を拝借して一気に読み切ったのですが、これらの本もそもそもは岡本さんが中川さんに勧められたように記憶します。古林氏の回想にもあるように岡本さんは晩年まで古城めぐりを楽しまれたわけですが、この古城趣味は彼の神秘主義に対する関心と結びつきそうです。井手野氏のご指摘にもある通り、彼はロマンの人だったのですね。**Schwerer** さんは岡本さんが **Österreichischer Burgenverein** の会員だったことを記していますが、「**Schwerer** さんに会費を立て替えてもらっているのだ」と赴任前の私に岡本さんはユーロ札を託されたものでした。

そんなロマンチストの岡本さんからいただいた数少ない IAEA 勤務に関する実践的助言のひとつは「国連施設のお巡りさんには丁寧に対応すること」でした。そのお巡りさんから（おそらく毎日夕刻の施設巡回の際に）“save energy please”と言われた、と岡本さんは何度もおっしゃっていました。職員の大半が家族との夕食のために帰宅した後もよく IAEA に居残られていたようで、タイピングが遅かったから…、とご本人はどこかで説明されていましたが、そうではなく、彼の妥協を許さない仕事ぶりによるものだ、というのが私の理解です。岡本さんの IAEA での大きな仕事として医療用核データ事業の開始、いまだにダウンロード数の多い“**Handbook on Nuclear Activation Data**”の編集作業などが知られていますが、私はその仕事柄、“**KO**”というイニシャルの入った **EXFOR** エントリーの中に目立たぬところでの岡本さんの仕事ぶりを日々拝見し、またそれを励みとしています。

そんな岡本さんですが、毎年 **NDS** の同僚をご自宅にまねいては日本から空輸した大海老を自ら揚げてご馳走され、また同僚とワイン産地に試飲に出かけるなど、岡本さんは職場外でも IAEA の方々とのお付き合いを楽しまれていたようです。後者に関しては **Schwerer** さんの以下の（同行者としての）証言があります：あるとき、岡本さんはご自分の車に垣花秀武元事務次長兼研究・アイソトープ局長（元名大プラズマ研所長）を乗せ、**Unter-Markersdorf**（チェコ国境までおよそ 5 km）にある **Schwerer**

さん馴染みの醸造所に出かけられました。ところが、車載の発電機の調子がよくなかったのでしょうか、日没が進むとともに前照灯が次第に暗くなり、ついにウィーン市内9区で動かなくなった車を元事務次長と岡本さんは押して歩いたのだそうです（幸い元事務次長のお人柄はこのようなトラブルをもユーモアと解するものだったようです）。笑い話と言え、ノルウェーに留学中の岡本さんがスキーで研究所に通う途中にドイツ軍の爆撃の穴に転落、近所の子供たちに助けられた、という話もありました（この留学報告は原子力委員会月報第4巻第2号に転載されており、インターネットを通じて読むことができます）。

このノルウェー留学の25年ほど後に、岡本さんはサクレーにあった中性子データ編集センター（ENEA CCDN、現 NEA Data Bank）から、当時まだ国立歌劇場近くのグランドホテルに仮住まいしていたIAEAにうつられます。この異動のための一時帰国の際に岡本さんが原研を退職されたことは古林さんが記されているとおりです。原研への復職の可能性を絶ってまで“rotation policy”（いわゆる「7年ルール」）のあるIAEAに赴任された点は、やはり7年後の身の振り方に悩まされた私には気になるところです。ともあれ、岡本さんはめでたく定年制に移行され、のべ15年強にわたりIAEAの核データ事業に大きく貢献されました。ご帰国後お住まいになられた田園調布のご自宅に数度お招きいただき、岡本さんや、その奥様（早苗さん）、お嬢様（和子さん、ニューイヤークンサートの生中継での同時通訳者）にあたたかくもてなしていただきました。謹んで岡本さんのご冥福をお祈りいたします。

大塚 直彦 2016年9月

日本原子力学会核データ部会

核データニュース編集小委員会

喜多尾憲助（元放医研）、井頭政之（東工大）、石川 眞（原子力機構）、
岩本 修（原子力機構）、中川庸雄（元原子力機構）、渡辺幸信（九大）、
山野直樹（元福井大）、大塚直彦（IAEA）、中村詔司（原子力機構）、
小浦寛之（委員長、原子力機構） [編集] 石橋貞子